

●建設工学専攻

住む、働く、憩う、動くなど、社会の多様な活動を支える空間や施設の整備を担う建設技術は、安心・安全の確保、環境との調和が不可欠であり、激しい自然災害に見舞われる現代社会において、より一層の高度化が求められています。本専攻は、そうした難問に積極的に取り組むことのできる高度な研究者、技術者、デザイナーの育成を目指しており、建築学と社会デザイン工学(土木工学)を専門とする教員が、幅広い分野の研究と教育を行っています。なお、一級建築士試験の実務経験要件を満たす科目も開講しています。

令和6年度4月入学生を募集する専修部門と指導教員及び研究内容

専修部門	指導教員	研究内容
建築学	教授 博士(工学) 穴井 謙	都市・建築空間における音・光環境の予測評価手法と対策技術に関する研究
	教授 博士(人間環境学) 池添 昌幸	住宅および建築のストックマネジメントに関する研究
	教授 博士(工学) 堺 純一	建築構造物の弾塑性挙動と構造性能評価法に関する研究
	教授 工学博士 高山 峯夫	免震・制震技術を使った応答制御構造に関する研究
	教授 博士(工学) 太記 祐一	歴史的な都市空間とそれを構成する建築物に関する研究(東地中海沿岸を中心に)
	教授 博士(工学) 趙 翔	人間行動と空間の関係に関する研究と建築空間のデザイン
	准教授 博士(工学) 田中 照久	建築構造物の耐震技術と性能設計法に関する研究
	准教授 博士(工学) 塚越 雅幸	建築部材の耐久性評価および予測と補修・補強に関する研究
社会デザイン工学	准教授 博士(工学) 宮崎 慎也	持続可能な都市形態と社会システムに関する研究
	教授 博士(工学) 佐藤 研一	液状化、軟弱地盤、地盤環境問題への対策、舗装技術に関する研究
	教授 博士(工学) 柴田 久	景観や公共施設のデザインに関する研究
	教授 博士(工学) 辰巳 浩	都市交通と地域活性化のためのまちづくりに関する研究
	教授 博士(工学) 村上 哲	豪雨・地震による地盤災害の予測手法の高度化と防止・軽減技術に関する研究
	教授 博士(工学) 渡辺 浩	木質資源の外構材への有効利用と木橋への適用性に関する研究
	教授 博士(工学) 渡辺 亮一	都市内水循環および生態系再生に関する研究
	准教授 博士(工学) 橋本 彰博	流域・沿岸域における防災・減災および環境保全に関する研究
准教授 博士(工学) 樋原 弘貴	コンクリート構造物の高耐久化と維持管理技術に関する研究	

授業科目、単位、担当者及び履修方法(令和5年度現在)

部門	主要科目		担当者		
	授業科目	単位数			
建築学専修	建築学特別研究	6	教授 博士(工学) 穴井 謙		
			教授 博士(人間環境学) 池添 昌幸		
			教授 博士(工学) 堺 純一		
			教授 工学博士 高山 峯夫		
			教授 博士(工学) 太記 祐一		
			教授 博士(工学) 趙 翔		
			教授 博士(工学) 吉澤 幹夫		
			准教授 博士(工学) 田中 照久		
			准教授 博士(工学) 塚越 雅幸		
			准教授 博士(工学) 宮崎 慎也		
			建築学特別実験・実習	4	教授 博士(工学) 穴井 謙
					教授 博士(人間環境学) 池添 昌幸
					教授 博士(工学) 堺 純一
					教授 工学博士 高山 峯夫
教授 博士(工学) 太記 祐一					
教授 博士(工学) 趙 翔					
教授 博士(工学) 吉澤 幹夫					
社会デザイン工学専修	社会デザイン工学特別研究	6	准教授 博士(工学) 田中 照久		
			准教授 博士(工学) 塚越 雅幸		
			准教授 博士(工学) 宮崎 慎也		
			教授 博士(工学) 佐藤 研一		
			教授 博士(工学) 柴田 久		
			教授 博士(工学) 辰巳 浩		
			教授 博士(工学) 村上 哲		
			教授 博士(工学) 渡辺 浩		
			教授 博士(工学) 渡辺 亮一		
			准教授 博士(工学) 橋本 彰博		
			准教授 博士(工学) 樋原 弘貴		
			社会デザイン工学特別実験・実習	4	教授 博士(工学) 佐藤 研一
					教授 博士(工学) 柴田 久
					教授 博士(工学) 辰巳 浩
教授 博士(工学) 村上 哲					
教授 博士(工学) 渡辺 浩					
教授 博士(工学) 渡辺 亮一					
准教授 学術博士 坂田 力					
准教授 博士(工学) 橋本 彰博					
准教授 博士(工学) 樋原 弘貴					

特 修 科 目			
部 門	授 業 科 目	単位数	担 当 者
非 専 修	弾 塑 性 構 造 力 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 堺 純 一
	合 成 構 造 耐 震 設 計 特 論	2	
	木 質 材 料 構 造 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 渡 辺 浩
	橋 梁 学 特 論	2	
	マ ト リ ッ ク ス 構 造 解 析 特 論	2	准 教 授 学 術 博 士 坂 田 力
	材 料 力 学 史 特 論	2	
	銅 構 造 弾 塑 性 学 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 田 中 照 久
	銅 構 造 座 屈 特 論	2	
	地 震 工 学 特 論	2	教 授 工 学 博 士 高 山 峯 夫
	応 答 制 御 構 造 特 論	2	
	建 築 構 造 デ ザ イン 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 吉 澤 幹 夫
	構 造 計 画 特 論	2	
	コ ン ク リ ー ト の 材 料 科 学 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 塚 越 雅 幸
	コ ン ク リ ー ト 工 学 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 樋 原 弘 貴
	建 設 材 料 の 耐 久 性 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 塚 越 雅 幸
	複 合 建 設 材 料 工 学 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 樋 原 弘 貴
	流 体 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 橋 本 彰 博
	環 境 水 理 学 特 論	2	
	浄 化 機 能 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 渡 辺 亮 一
	応 用 生 態 工 学 特 論	2	
	地 域 ・ 住 宅 地 計 画 特 論	2	准 教 授 博 士(工 学) 宮 崎 慎 也
	都 市 計 画 ・ ま ち づ くり 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 辰 巳 浩
	都 市 デ ザ イン 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 柴 田 久
	交 通 計 画 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 辰 巳 浩
	地 域 計 画 ・ 設 計 特 論	2	非 常 勤 講 師 工 学 博 士 黒 瀬 重 幸
	景 観 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 柴 田 久
	建 築 熱 環 境 計 画 特 論	2	
	建 築 空 気 環 境 計 画 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 穴 井 謙
	建 築 光 環 境 工 学 特 論	2	
	建 築 音 環 境 工 学 特 論	2	
	道 路 舗 装 工 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 佐 藤 研 一 非 常 勤 講 師 工 学 博 士 姫 野 賢 治
	地 盤 環 境 工 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 佐 藤 研 一 非 常 勤 講 師 博 士(工 学) 肴 倉 宏 史
	地 盤 防 災 工 学 特 論	2	
	地 盤 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 工 学 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 村 上 哲
	建 築 意 匠 特 論 I	2	非 常 勤 講 師 高 木 正 三 郎
	建 築 意 匠 特 論 II	2	非 常 勤 講 師 赤 川 貴 雄
	都 市 史 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 太 記 祐 一
	建 築 史 特 論	2	
	建 築 設 計 計 画 特 論	2	教 授 博 士(工 学) 趙 翔
	空 間 計 画 学 特 論	2	教 授 博 士(人 間 環 境 学) 池 添 昌 幸
建 築 構 造 設 計 学 特 論	2	非 常 勤 講 師 博 士(工 学) 稲 田 達 夫	
地 球 環 境 建 築 生 産 特 論	2		
建 築 デ ザ イン 演 習 I	4	教 授 博 士(人 間 環 境 学) 池 添 昌 幸 教 授 博 士(工 学) 太 記 祐 一 教 授 博 士(工 学) 趙 翔 准 教 授 博 士(工 学) 宮 崎 慎 也 非 常 勤 講 師 赤 川 貴 雄	
建 築 デ ザ イン 演 習 II	4	教 授 博 士(人 間 環 境 学) 池 添 昌 幸 教 授 博 士(工 学) 太 記 祐 一 教 授 博 士(工 学) 趙 翔 准 教 授 博 士(工 学) 宮 崎 慎 也 非 常 勤 講 師 高 木 正 三 郎	
建 設 設 計 実 習 I	2		
建 設 設 計 実 習 II	2	教 授 博 士(工 学) 堺 純 一	
建 設 設 計 実 習 III	2	教 授 博 士(工 学) 太 記 祐 一	
建 設 設 計 実 習 IV	2		

- 1 学生の標準就業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得するものとする。
- 2 主要科目のうちから一つの専修部門（特別研究、特別実験・実習）を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 3 専修科目の特別研究担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。
- 4 1項の30単位は、専修科目10単位及び特修科目20単位以上とし、指導教員が必要と認めた場合は、他の専修又は専攻及び研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 5 修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。